

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.4
東海村立白方
小学校
2025.4.25
児童数 450人

4月13日（日）に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪夢洲で日本国際博覧会が始まりました。サブテーマはSavingLives(いのちを救う)EmpoweringLives(いのちに力を与える)ConnectingLives(いのちをつなぐ)です。180を超える国が参加し、未来社会の実験場として様々な展示、催しが実施され、予測が難しい国際社会の状況の中、「いのちをつなぐ」ために各国の絆が培われる大きな機会になればいいなと思っています。子供たちにとりましては、未来社会のイメージが大きく広がる場になると思われます。約半年間、10月13日まで開催されるということです。

学校では子供たち同士の交流を始め、自分で自分の命を守るための力を培うための活動を年度始めの時期に行っています。16日には火災を想定した避難訓練、18日には1、2年生の交通安全教室を実施しました。始業式に話した今年度取り組んで欲しいことの一つである「元気に過ごす。」ために、災害時や登下校時に自分の命を自分で守る力を高めて参りたいと思います。

避難訓練

～災害時の避難の仕方を学びました。～

16日（水）2校時に地震とその後の火災を想定した避難訓練を実施しました。例年年度始めの避難訓練は避難経路確認だけでしたが、命を守る行動を学校及び学校以外の場所でもできるようにするため、災害が起きたことを想定した避難訓練を行いました。地震の揺れが起きている間は、天井からの落下物から頭を守るために、防災頭巾や帽子などをかぶり、机の脚をもって机の下に隠れる訓練をしました。事前に、頭の致命傷は身体の動きが奪われるため、どのような場所でも頭を守ることが大切であるということを、学年の発達段階に合わせて学習しました。その後、校内で火災が起これば校庭に逃げる訓練では「お（押さない）・か〔屋内ではかけない（走らない）〕・し（しゃべられない）・も（戻らない）」がどうして大切なのかについて事前に学級で話し合っていたため、一人一人がそのことを意識して避難することができました。また、火災で生じる有毒なガスを吸い込まないようにするため、口をハンカチで押さえる重要性についてもよく理解して、行動に移すことができていました。全員の避難完了が5分以内と、広い校舎に

もかかわらず、とても素早く避難することができました。



交通安全教室

～安全な横断歩道の渡り方を学びました。～

4月18日（金）1、2年生が交通安全教室で横断歩道の渡り方を学習しました。まず最初に歩道がある道路の歩き方や歩道がない道路の歩き方を提示された絵を見ながら、どこを歩いたらよいのかみんなで考えながら、「歩いている方向の右側の歩道の道路から遠い場所（歩道の右側）を歩く。」「歩道がない場合は、道路の右端の白い線の右側、白い線がない場合でも道路の右端を歩く。」ということを知りました。次に信号機の有る横断歩道、信号機がない横断歩道の渡り方について考えました。信号機が有って信号が青の場合でも、信号機がない横断歩道と同じように、一度止まって、「お尻ポコ」と体を前屈みにして、右左右を見て、自動車やバイク、自転車などが来ていないことを確認してから渡ることを確認しました。その後、2～3人組になって、実際に模擬の信号機を設置した横断歩道を使って、実際に「お尻ポコ」と前屈みになって右左右の安全を確認して横断する練習を行いました。交通事故では、一瞬にして命が奪われてしまう場合があります。命が救われた場合でも重い障害を体に負ってしまう場合もあります。自分の命や体を自分で守るため、安全な歩行、道路の横断の仕方について、繰り返しこの体験を想起させながら、日々交通安全を心がけた登下校、放課後の外出ができるよう話して参りたいと存じます。



【就学援助制度のお知らせ】

東海村では、経済的な理由により、給与費、遠足・校外学習等の参加に必要な経費の支出が困難な保護者の方に対し、その費用の一部を援助する「就学援助制度」があります。村への申請の当面の締め切りが5月31日（金）までとなります。申請方法や認定要件等、制度の詳細につきましては、村役場内教育委員会学校教育課へお問い合わせください。（村役場代表 282-1711） ※なお、6月～2月も随時申し込みできます。